

# 令和6年度中学生チャレンジテスト

## 第1学年 国語

### 注意

- 1 テスト問題は、1ページから28ページまであります。先生の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙④（国語）に記入してください。
- 3 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、**濃く、はつきり**と書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。  
また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 8 テスト実施時間は、45分です。



問題は、次のページから始まります。

□ 次の 1 ～ 4 の問いに答えなさい。

1 書写の授業で書いた次のような【作品】があります。文字を書く位置や字と字のバランスを整えるためには、どのように書き直せばよいですか。あとのア～エのうち、最も適しているものを一つ選びなさい。

【作品】



- ア 「並」と「木」の間をもつとあけて、行の中心を右にずらしたほうがよい。
- イ 「桜」と「並」の間をもつとあけて、行の中心を右にずらしたほうがよい。
- ウ 「並」と「木」の間をもつとあけて、行の中心を左にずらしたほうがよい。
- エ 「桜」と「並」の間をもつとあけて、行の中心を左にずらしたほうがよい。

2 次の①～③の文中の——線部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいてねいに書きなさい。

- ① 幼いころの写真。
- ② チームの結束を強める。
- ③ 出来事の背景をさぐる。

3 次の①～③の文中の——線部のカタカナを文の内容に合うように漢字に直し、楷書<sup>かいしよ</sup>でいてねいに書きなさい。

- ① 入学をイワう。
- ② 美術館に展示されたハンガの作品。
- ③ 味がよいとヒヨウバンの店。

4 次の文について、「／」を入れて正しく文節に区切つてあるものを、あとのア～エから一つ選びなさい。

まだ使えるえんぴつを捨ててしまうのはもったいない。

- ア まだ使えるえんぴつを／捨ててしまうのは／もったいない。
- イ まだ使える／えんぴつを／捨ててしまうのは／もったい／ない。
- ウ まだ／使える／えんぴつを／捨てて／しまうのは／もったいない。
- エ まだ／使える／えんぴつ／を／捨て／て／しまう／の／は／もったい／ない。

問題は、次のページに続きます。

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

---

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(山本和博<sup>やまもとかずひろ</sup>『大都市はどうやってできるのか』による)

1 次のア～エのうち、本文中の~~~~線部と同じ構成(成り立ち)の熟語を一つ選びなさい。

ア 往復

イ 最大

ウ 思考

エ 不敗

2 次のア～エのうち、本文中の 

A
---

 に入る言葉として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア しかし

イ あるいは

ウ だから

エ たとえば

3 次のア～エのうち、本文中の——線部①について、本文中で述べられている内容として適しているものを二つ選びなさい。

ア 人々は食料の確保の問題に突<sup>つ</sup>き当た<sup>た</sup>るのを避<sup>さ</sup>けるために集<sup>ま</sup>って生活<sup>せいかつ</sup>していた。

イ 人々は都市よりも規模の小さい町や村をかたちづくることですら難<sup>がた</sup>しかった。

ウ 人々が狩<sup>しゆり</sup>猟<sup>りやう</sup>を成功<sup>せいこう</sup>させるために少<sup>すく</sup>人数<sup>にんずう</sup>のチー<sup>ち</sup>ムを作<sup>つく</sup>ったとは考<sup>かん</sup>えられない。

エ 人々は狩<sup>しゆり</sup>猟<sup>りやう</sup>採<sup>さい</sup>集<sup>じつ</sup>などの必要<sup>ひつよう</sup>に応<sup>お</sup>じた最<sup>さい</sup>低<sup>てい</sup>限<sup>げん</sup>度<sup>ど</sup>の人<sup>ひと</sup>数<sup>ずう</sup>で集<sup>あ</sup>ま<sup>り</sup>て生<sup>せい</sup>活<sup>かつ</sup>を営<sup>えい</sup>んでいた。

4 次のア～エのうち、本文中の——線部②のここでの意味として最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 限度をこえて
- イ 表現を変えれば
- ウ 無理にでも
- エ 同じように

5 次の文は本文中の「ア」～「エ」のいずれかに入ります。入るところとして最も適しているものを一つ選びなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

6 本文中の——線部③について説明した次の文章中の I、II に入る適切な言葉を、それぞれ

本文中からぬき出しなさい。ただし、I は十一字、II は七字でぬき出すこと。

初期の農耕社会では、小さな孤立した村で自給自足の経済が営まれていたと考えられ、基本的には全ての食料を村の中で生産しなくてはならなかった。そのため、村の I が、自給自足の村の人口規模を決めていた。そのような状況の中、II が起こり、稲の穂先を刈り取る石器や稲を貯蔵するための高床式の倉庫などが発明され、同じ土地の広さでより多くの食料を収穫、貯蔵できるようになったことで、村の人口規模を大きくすることが可能になった。

③ 山村さんの学級では、授業でSDGsについて学び、「私にできる身近なエコ」というテーマで、一人ひとりが自分の意見を書くことになりました。次は、山村さんが書いた【下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【下書き】

① 「私にできる身近なエコ」として、ごみの量を減らすことにつながるアップサイクルという取り組みを紹介したい。  
私たちの身の回りでは、ごみの量を減らすことにつながるよう、リサイクルやリユースなどの取り組みが進められている。そのような取り組みのうちの一つにアップサイクルと呼ばれるものがある。

インターネットで調べてみると、アップサイクルは、「元の製品に新たな価値を持たせて別の製品として再生させること」だと説明されていた。リサイクルやリユースと似ているが、少し異なっている。  
そこで、私もアップサイクルを試してみたいと考え、挑戦することにした。

私は、祖母におとし買ってもらったTシャツを大切に着ていた。私が成長して、最近そのTシャツが着られなくなり、一度は捨てようと思った。しかし、捨てるのはもったいないと考えてエコバッグに<sup>③</sup>つくり変えました。そうすることで、そのTシャツが世界でたった一つの、お気に入りのエコバッグになった。もし祖母からもらったTシャツを捨てたり、衣類の回収に出したりしていたら、Tシャツを大切にしていたという思いを日常的に感じることはできなくなっていただろう。私が行ったこのアップサイクルは、物にこめられた思いを大切にしながらごみ

の量を減らすことにつながる「私にできる身近なエコ」の形だったといえる。アップサイクルの他の例としては、牛乳パックの上部を切り取り、不用になった包装紙を貼るなどしてテレビのリモコン立てにすることや、使わなくなったマグカップの底に穴をあけて、観葉植物の植木ばちとして使うことなどがあげられる。

また、アップサイクルについて考える中で、私が住んでいる梅山市のごみの量について興味をもち、調べてみることにした。梅山市の環境局が作成した資料からは、平成26年度から令和5年度にかけて

B

ことが読み取れる。一人ひとりのごみの量が全体の量に影響するのかもしれない。だからこそ私は、一人ひとりがふだんからごみの量を減らす意識をもつことが大切だと考える。

私たち一人ひとりができる身近なエコとして、ごみの量を減らすことにつながるアップサイクルというものに、より多くの人に取り組んでみてほしい。

1 次のア～エのうち、【下書き】中の——線部①について説明したものととして最も適しているものを一つ選びなさい。

ア これから伝えようとしている内容を述べている。

イ 課題を解決するための調査方法を述べている。

ウ 調べていく中で出てきた疑問を述べている。

エ 意見文を作成する際の苦労や失敗を述べている。

2 山村さんは、【下書き】を読み直してみて、——線部②について「着られなくなり」を「着られなくなったため」に書き直すことにしました。次のア～エのうち、書き直すことにした意図として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア Tシャツを祖母に買ってもらうことになったきっかけをより明確にしようとした。

イ Tシャツを捨てるのはもったいないと考えたきっかけをより明確にしようとした。

ウ Tシャツがエコバッグになった理由をより明確にしようとした。

エ Tシャツを捨てようと思った理由をより明確にしようとした。

3 【下書き】中の——線部③を、文末が文章全体に合うように直して書きなさい。

4 山村さんは、友人の原田さんからアドバイスをもらい、【下書き】中の「A」の部分に次の内容を書き加えることにしました。原田さんはどのようなアドバイスをしたと考えられますか。あとの「A」「E」のうち、最も適しているものを一つ選びなさい。

たとえば、ジャムの空きびんの場合、びんを砕いて溶かして新しいびんなどにつくり変えるのがリサイクル、ジャムなどのびんとしてそのまま使うのがリユース、びんの周りに飾りつけをして、えんぴつ立てなどにつくり変えるのがアップサイクルである。

ア リサイクルやリユースとアップサイクルの違いちががわかりにくいので、それぞれの取り組みの例をあげて具体的に説明したらよい。

イ リサイクルやリユースとアップサイクルの違いがわかりにくいので、それぞれに組み込む目的が明確になる資料を示したらよい。

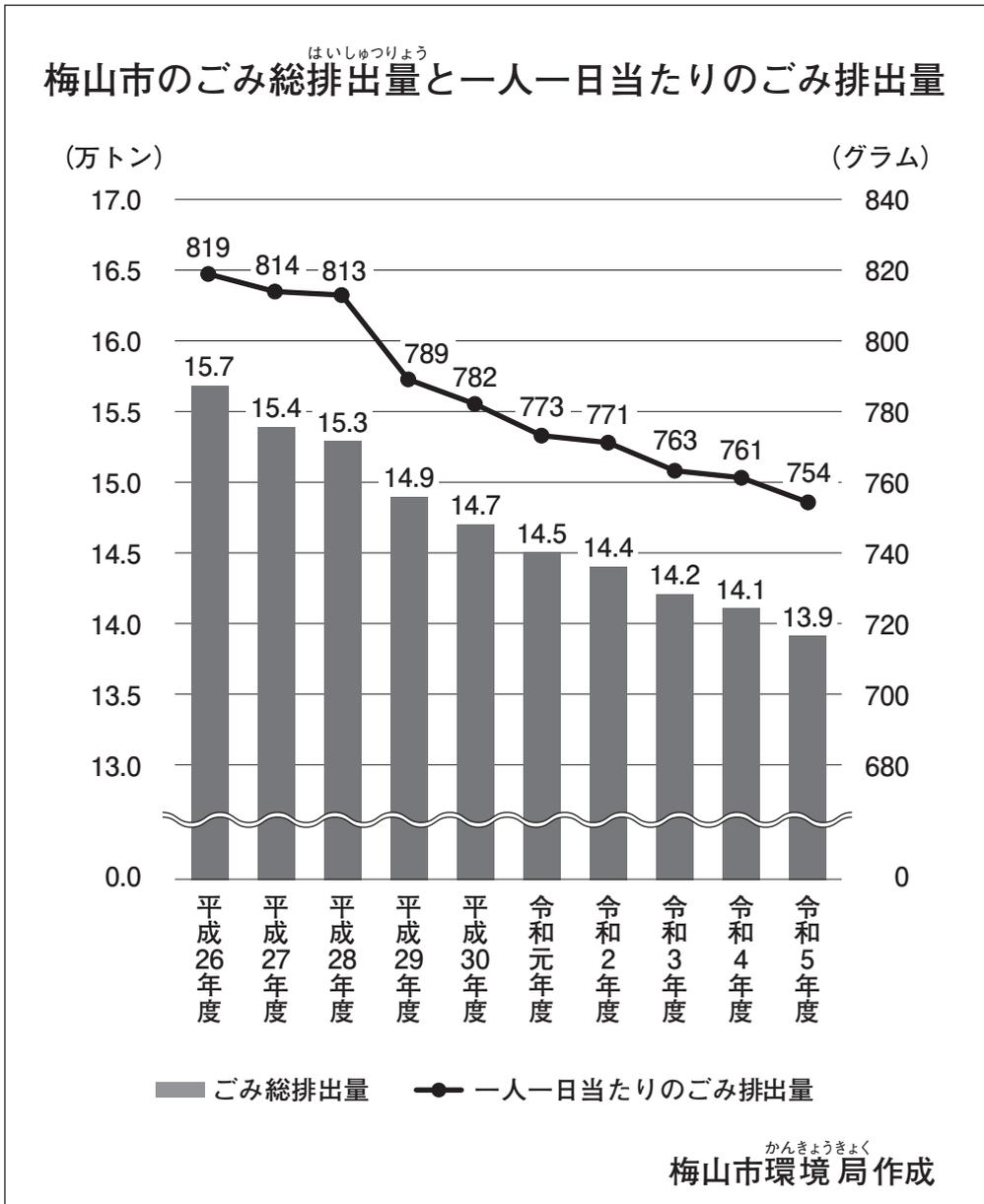
ウ リサイクルやリユースと違ってアップサイクルという言葉の説明が難しいので、アップサイクルにしばって複数の具体例を示して説明したらよい。

エ リサイクルやリユースと違ってアップサイクルという言葉の説明が難しいので、本から引用するなどしてアップサイクルに関するデータを示したらよい。

5 【下書き】 中の B には、山村さんが次の【資料】から読み取った内容が入ります。あなたが山村

さんなら、どのように書きますか。あとの条件にしたがって書きなさい。

【資料】



**条件 1** ごみ総排出量と一人一日当たりのごみ排出量の両方にふれて書くこと。

**条件 2** 前後の文脈に合わせて二十五字以上、五十字以内で書くこと。

## 【商店街からのお願い】

令和6年〇月〇日

青川中学校のみなさんへ

青川町商店街50周年  
記念行事実行委員会

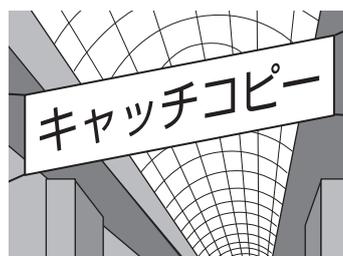
### 横断幕のキャッチコピー作成のお願い

このたび、青川町商店街では、商店街の誕生50周年を記念して、よりたくさんの人たちに商店街のよさを伝えるための横断幕を作成することにしました。横断幕は下の図のようなイメージで商店街の中に設置する予定です。そこで、青川中学校のみなさんには、横断幕に入れるキャッチコピーを考えてほしいと思っています。次にあげるような〈商店街のよさ〉が伝わるキャッチコピーをいくつか考えて下さい。

#### 〈商店街のよさ〉

- お店の人が親しみやすい
- 利用者の要望に応える専門性がある
- 50年前からの街並み<sup>まちな</sup>を残している
- 楽しいイベントを開いている

#### 〈横断幕のイメージ〉



ご協力をよろしくお願いいたします。

【四】野口さんが通う青川中学校では、次の【商店街からのお願い】を受けて、青川町商店街が作成する横断幕に入れるキャッチコピーの案を各クラスで一つずつ考え、商店街に提案することになりました。そこで、野口さんのクラスでは、学級活動の時間に話し合いをしています。【商店街からのお願い】と【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの一部】

野口さん 今日、青川町商店街のよさを表現できるキャッチコピーをクラスで考え、クラスとして提出する案を一つ決めたいと思っています。案を思いついた人から意見をお願いします。

上西さん 質問があります。キャッチコピー作成のお願いに書いてある

あ

野口さん 商店街のよさが表現できていれば、必ずしも四つすべてが伝わるキャッチコピーでなくてもよいそうです。  
上西さん わかりました。

野口さん では、案のある人は言ってください。

井本さん はい。私は、「あなたのほしいもの、みつけます」というキャッチコピーを考えました。私はこの言葉で商店街のよさにある「利用者の要望に応える専門性がある」ことを伝えたいと思いました。以前、祖母へのプレゼントとして目覚まし時計を買ったために青川町商店街の時計店に行ったことがあります。目的をお店の人に伝えると、お店の人がいろいろな目覚まし時計の特徴を<sup>とくちょう</sup>ていねいに教えてくれ、思った通りの商品を買うことができました。このキャッチコピーでそのときの思いが伝わればよいと思います。

田村さん はい。私が考えたキャッチコピーは、「思い出の店、思い出の街」です。この言葉で「五十年前からの街並みを残している」ことを伝えたいと思いました。青川町商店街は誕生五十周年をむかえる商店街で、商店街の一部には当時のおもかげを残しているお店が残っています。昔ながらの店構えに魅力<sup>みりょく</sup>を感じ、多くの人が訪<sup>おもむ</sup>かれています。SNSなどでも、昔なつかしい雰囲気<sup>ふんいき</sup>が感じられると話題だそうです。

野口さん 井本さん、田村さん、案を出してくれてありがとうございます。みなさん、お二人の案についてどう思いますか。

森川さん どちらの案も商店街のよさをよく表していると思いますが、私は井本さんの案がよいと思います。

野口さん 森川さんは、井本さんの案のどのような点がよいと思うのですか。くわしく教えてください。

森川さん 「利用者の要望に応える専門性がある」ことだけでなく、「お店の人が親しみやすい」という商店街のよさも伝わってくるという点です。私は商店街をよく利用しますが、青川町商店街のお店の方は、親しみやすい人が多いと思います。ていねいに接客してくれますし、お店を利用しないときにもあいさつや声かけをしてくれます。

中谷さん ①森川さんの意見を聞いて、井本さんの案も確かによいと感じました。その上で、私は、「五十年前からの街並み<sup>まちな</sup>を残している」ということをより強く伝えたいので、田村さんの案がよいと考えています。また、「思い出」という言葉の受け止め方がちがうかもしれないませんが、「お店の人が親しみやすい」という商店街のよさがあるからこそ、昔から青川町商店街を利用してきた人の中に、お店やお店の人の思い出がたくさん残っているのではないのでしょうか。

野口さん 二人の案に対する意見が出ていますが、他の案を思いついた人がいたら言ってください。

高木さん はい。私は、「お正月から大みそかまで青川町商店街はみんなの暮らしを盛り上げます」というキャッチコピーを考えました。お正月から始まって、一年中、季節ごとに楽しいイベントが開かれているのは、商店街のよいところだと思います。

矢島さん 高木さんの案は「楽しいイベントを開いている」という商店街のよさがよく伝えられていると思います。ただ、商店街を訪れた人が横断幕を歩きながら見ることを考えると、文が長くて読みにくいのではないのでしょうか。

高木さん 確かにそうですね。短くてわかりやすい言葉のほうがよいと私も思います。そういう点では、井本さんと

田村さんの案はどちらもよいキャッチコピーだと考えます。確かに私の案は長いですね。

小山さん 今、意見が出たキャッチコピーの長さは、以前授業で学んだキャッチコピーとして大切な観点の一つではないですね。

上西さん キャッチコピーとして大切な観点は、「必要な情報がわかりやすく伝わること」、「短い言葉で印象に残ること」、「興味をひく表現であること」でしたね。

小山さん それでは、この三つの観点も加えて考えてみましょうか。

高木さん はい。ただ、私の案はやはりキャッチコピーとしては長いと思うので、井本さんと田村さんの案にしようかと、どちらがよいかを考えてみるのはどうでしょうか。

野口さん 高木さん、本当にそれでよいですか。

高木さん はい。かまいません。

野口さん それでは、ここまでの意見をふまえて、<sup>②</sup>キャッチコピーとして大切な観点から、二つの案のどちらがよいか、意見を述べてください。

(以下、話し合いは続く)

1 【話し合いの一部】中の あ に入る適切な質問を、前後の文脈に合わせて、二十字以上、四十字以内で書  
きなさい。

2 次のア～エのうち、【話し合いの一部】中の——線部①について説明したものととして最も適しているものを、一  
つ選びなさい。

- ア 相手の意見を受け入れた上で、相手の意見を批判している。
- イ 自分の意見を主張した上で、自分の意見の問題点も認めている。
- ウ 相手の意見を受け入れた上で、自分の意見を主張している。
- エ 自分の意見を主張した上で、相手の意見の問題点を指摘してきしている。

3 次のア～エのうち、【話し合いの一部】中で野口さんが果たした役割として適していないものを一つ選びなさい。

- ア 話し合いの参加者に対して、何について話し合うかを最初に確認している。
- イ 参加者の発言が目的からそれたときは、元の話題に戻そうとしている。
- ウ 発言の根拠こんきよがわかりにくいときは、発言者に具体的な説明を求めている。
- エ 多くの人が話し合いに参加できるよう、参加者に対して発言をうながしている。

4 次の【表】は、【話し合いの一部】中のキャッチコピーの案や案に対する意見についてまとめたものです。あとの(1)、(2)の問いに答えなさい。

【表】

提案者	キャッチコピーの案	案に対する意見
井本さん	あなたのほしいもの、みつけます	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の要望に応える専門性があるという商店街のよさが伝わる。</li> </ul>
田村さん	思い出の店、思い出の街	<ul style="list-style-type: none"> <li>五十年前からの街<small>まちな</small>並みを残しているという商店街のよさが伝わる。</li> </ul>
高木さん	お正月から大みそかまで 青川町商店街はみんなの 暮らしを盛り上げます	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しいイベントを開いているという商店街のよさが伝わる。</li> <li>横断幕に入れるキャッチコピーにするには、</li> </ul>

(1) I に共通して入る内容を、【話し合いの一部】中から十一字でぬき出さない。

(2) II に入る内容を、【話し合いの一部】中から十字でぬき出さない。

5 矢島さんはこの後の話し合いで、【話し合いの一部】中の——線部②の言葉を受けて、次のA、Bのどちらかの案に賛成する意見を述べようとしています。あなたが矢島さんならどちらの案を選び、どのような理由を述べますか。A、Bから一つ選び、選んだ理由をあとの条件にしたがって書きなさい。

A

あなたのほしいもの、みつけます

B

思い出の店、思い出の街

条件1 【話し合いの一部】中のキャッチコピーとして大切な観点から考えたときに、あなたが選んだ案にどのような工夫がみられるのかを具体的に書くこと。

条件2 四十字以上、七十字以内で書くこと。

〔五〕 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

（『醒睡笑』より）

1 本文中の~~~~線部を現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

2 本文中の——線部①を次のように現代語に直したとき、あとのア、イ、エのうち、に入る単語として最も適しているものを一つ選びなさい。

亭主  出て

ア に    イ と    ウ を    エ が

**3** 次のア～エのうち、本文中の——線部②を現代語に直したときの「それならば」の「それ」がさし示す内容として最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 麦飯しか客に出す食べ物はないということ
- イ 客は麦飯を食べるのが好きだということ
- ウ 麦飯を食べる時に客が来たということ
- エ 客が来た時には必ず麦飯を出すということ

**4** 次のア～エのうち、本文中の——線部①、②の主語の組み合わせとして最も適しているものを一つ選びなさい。

- |   |                        |   |    |   |
|---|------------------------|---|----|---|
|   |                        | Ⓐ | —  | Ⓑ |
| ア | 亭主 <small>ていしゅ</small> | — | 客  |   |
| イ | 亭主                     | — | 亭主 |   |
| ウ | 客                      | — | 亭主 |   |
| エ | 客                      | — | 客  |   |

5 次は、本文の内容について、秋野さんと冬原さんが交<sup>か</sup>わした【会話の一部】です。あとのア～エのうち、【会話の

部】中の A に入る言葉として最も適しているものを一つ選びなさい。

【会話の一部】

秋野さん この話は、亭主と客のやりとりを書いているんだね。

冬原さん 最初、客は麦の飯が好きで、麦の飯を食べるためなら三里でも行くと言って、ごちそうしてもらったんだ。

秋野さん 次の場面では、亭主は客が以前に言っていた言葉を持ち出して、米の飯はあるけれど出さないと  
言っているんだね。

冬原さん そうだね。でも、客は A と、さらに遠い距離<sup>きょり</sup>をあげて伝えているね。客がまた飯を  
食べることができたのが、おもしろいね。

- ア 五里を行って食べるほどではないが、米の飯が好きだ
- イ 五里を行ってでも食べたいほど、米の飯が好きだ
- ウ 五里を行って食べるほどではないが、麦の飯が好きだ
- エ 五里を行ってでも食べたいほど、麦の飯が好きだ